

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成22年 9月

(平成22年 8月末調査)

平成22年9月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【7月】	諏訪公共職業安定所管内	0.61倍	+0.23ポイント
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,505枚	+1,284枚
	金 額	12,711百万円	+3,653百万円
	うち不渡り	0枚	5枚
	発生状況	0千円	2,768千円
電力使用量【8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	48,503 MWh	1.5%
	高圧電力計	109,900 MWh	+10.6%
	合 計	158,403 MWh	+6.6%
車庫証明取扱件数【8月】(諏訪地方合計)		1,127件	+44.1%
新設住宅着工戸数【22年4月～7月】(諏訪管内)		332戸	25.4%

本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

製造業

自動車関連の下請企業の状況は、足元の生産水準は比較的安定しているものの、先行きについては急激な円高とエコカー補助金終了の影響による受注の落ち込みが危惧されている。工作機械・専用機では半導体関連向けの機種で繁忙感がきかれるが、海外工場向けの自動車関連の機種では価格競争が激しくなっている。プリント基板では、デジタル家電向け等で受注は旺盛となっている。デジタルカメラ関連の下請企業の受注は比較的安定しているものの、コストダウン要請もきかれる。

地域製造業の足元の受注状況は弱含みながらも回復傾向で推移しているものの、先行きは15年振りの高値水準となった円高の影響やエコカー補助金終了による自動車の減産などの懸念材料があり不透明感が強くなっている。

商業

諏訪地方の8月の天候は、晴れた日が多く平均気温は1945年の統計開始以来1位となるなど記録的な暑さとなった。猛暑の効果から、衣料は夏物実用衣料を中心に売れ行きは例年を上回り、食料品でも引き続き盛夏食材の動きは好調であった。また、家電店ではエアコンの売れ行きが好調で、エアコン目的に来店した消費者が薄型TVも購入するなどの波及効果もきかれる。自動車販売ではエコカー補助金の適用期限を前にした駆け込み需要から、8月の車庫証明件数は1,127台と前年同月に比べて+345台(+44.1%)の大幅な増加となった。

各小売店からは、この記録的な猛暑は夏の消費動向にはプラスに作用したものの、消費マインド自体が上向いているものではなく、残暑の程度やエコカー補助金終了の影響による秋以降の消費動向が危惧されている。

観光業

第 62 回諏訪湖上花火大会は、約 4 万発の打ち上げに約 50 万人(主催者発表)が詰めかけ、大会当日は諏訪湖周のホテル旅館は満館となるなど大きな賑わいを見せた。

各観光地への入り込み客数は、お盆以降も猛暑日が続いたことから高原の観光地を中心に比較的堅調な推移となった。諏訪大社の 8 月の参拝者数(上社・下社合算)は約 87 千人と、引き続き御柱効果がみられ前年同月比約 +29 千人の大幅な増加となった。また、10 月からはじまる「信州デスティネーションキャンペーン」に向けて様々な企画が計画されている。

一方、秋以降の集客に向けて取り組んでいた台湾や中国からのインバウンドに関しては、急激な円高により現地でのツアー募集に弱含み感がきかれる。

建設業

市町村の 8 月の発注工事は、建築工事 6 件 40 百万円、土木工事・下水道工事 47 件 291 百万円、その他工事 16 件 131 百万円の合計 69 件 464 百万円で、前年同月比では件数は 22 件、契約金額は 544 百万円の減少となった。県関係の 8 月の公共工事(地元業者受注分)は 21 件 716 百万円で、平成 22 年 4 月～8 月の累計契約は 64 件 1,922 百万円と前年同期累計比では件数は +17 件増加、契約金額も +810 百万円の増加となった。今期工事の前倒し発注が行われており、下期においては受注の減少が見込まれている。

民間工事は、諏訪地方の 7 月の新設住宅着工戸数は 79 戸で前年同月比 36 戸(31.3%)の減少となっている。秋の着工に向けた動きにも、引き続き弱含み感がきかれる。

雇用

諏訪地域の 7 月の有効求人倍率は、前年同月を +0.23 ポイント上回り 0.61 倍と前年同月を 4 ヶ月連続で上回っているものの、依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は 0.53 倍、長野県の同倍率は 0.62 倍となっている。

諏訪地域の 7 月の新規求人(全数)は 1,094 人で前年同月比 +220 人(+25.2%)の増加、新規求職者数は 989 人で前年同月比 +79 人(+8.7%)の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数では、製造業、卸・小売業、飲食店・宿泊業、医療・福祉業が増加傾向である。なお、7 月の 1 件 10 人以上の人員整理は 3 件 32 人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 91 人で前年同月より 107 人減少、前月より +2 人増加した。

また、長野県労働局が発表した平成 23 年 3 月の高校新卒者の求人・求職状況(7 月末現在)では、南信ブロックの求人倍率は 0.68 倍(前年比 +0.02 ポイント)で、求職者数 1,008 人に対して求人数は 683 人と厳しい状況になっている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	デジタル家電向け等で受注は旺盛となっている。
コンデンサー	受注は弱含みで推移している。
プリンター	サーマルプリンターの受注は引き続き増加傾向であり、米国やユーロ向けの大型プリンターにも動きがかけられる。
コンタクター・リレー	受注状況は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	足元の生産水準は比較的安定しているものの、先行きについては急激な円高とエコカー補助金終了の影響による落ち込みが危惧される。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は比較的安定している。
船外機	生産量は回復傾向であるも、新興国向け機種が主体であることから収益性は弱含んでいる。

3. 一般機械

工作機械・専用機	半導体関連向けの機種で繁忙感がかけられるが、アジア向けの自動車関連の機種では価格競争が激しくなっている。
搬送用機械	小型機種や新興国向けで受注が増加している。
金型	電子機器向け等の一部に動きがかけられるものの、総体の新規受注は弱含みのまま推移している。
ダイカスト	ガス器具部品の受注は堅調に推移している。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの7月の生産台数は877万台で前月比 11.3%減少、前年同月比+10.3%増加となっている。7月の出荷台数は国内出荷78万台、海外出荷786万台で、出荷台数全体では前月比 11.8%減少、前年同月比+10.2%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 下請企業の受注は比較的安定しているものの、コストダウン要請もかけられる。
プロジェクター	海外生産が主体であるが、メーカーの販売状況は引き続き米国向けが好調であり、新興国向けも増加傾向である。
レンズ	受注は概ね安定している。

5. 織 維

ニット

猛暑の影響により秋冬物の動きが例年にも増して鈍く、受注時期も遅れ気味となっている。

6. 食 品

寒天

猛暑の効果からスーパー向けを中心に荷動きは活発である。ところてんの需要が急増し、天草は値上がり傾向である。

味噌

需要の減少期であるが、猛暑も重なり出荷状況は例年より幾分弱含んでいる。

7. 製 材

諏訪地方の7月の木造住宅着工戸数は64戸で、前年同月に比べ20戸の減少となった。秋の着工に向けた動きにも、引き続き弱含み感がきかれる。

8. 建 設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所11件、林道治山工事関係6件、農地整備課1件、その他土木工事3件の合計21件、契約金額716百万円となっている。平成22年4月～8月の累計契約は64件1,922百万円と前年同期累計比では件数は+17件増加、契約金額も+810百万円の増加となった。今期工事の前倒し発注が行われており、下期においては受注の減少が見込まれている。

市町村の8月の発注工事は、建築工事6件40百万円、土木工事・下水道工事47件291百万円、その他工事16件131百万円の合計69件464百万円で、前年同月比では件数は22件、契約金額は544百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は79戸で前年同月比では36戸（31.3%）の減少となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は3戸減少の77戸、「貸家」は30戸減少の0戸、「給与」は2戸減少の0戸、「分譲」は1戸減少の2戸となっている。

また、長野県全体の7月の新設住宅着工戸数は1,041戸で、前年同月比+15.8%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が743戸で+29.4%増加、「貸家」が187戸で25.8%減少、「分譲」が100戸で+49.3%増加となっている。

9. 商業

諏訪地方の8月の天候は、晴れた日が多く平均気温は1945年の統計開始以来1位となるなど記録的な暑さとなった。

猛暑の影響から家電店ではエアコンの動きが引き続き好調で、食料品でもアイスやペットボトル飲料、そうめんなどの盛夏食材は売れ行きを伸ばした。また、自動車販売ではエコカー補助金の適用期限を前にした駆け込み需要から、8月の車庫証明件数は1,127台と前年同月に比べて+345台(+44.1%)の大幅な増加となった。

衣料	夏物衣料は肌着などの実用衣料を中心に好調であったが、残暑の影響により秋物衣料の動きを懸念する店舗が多い。
食料品	7月に続きアイスやペットボトル飲料、そうめんなどの麺類の売れ行きは好調を維持した。ただし、客単価の下落傾向は続いており、お盆関連でもオードブルや刺身盛の買い上げ点数の減少がきかれる。
家電製品	猛暑の効果から引き続きエアコンの売れ行きが好調で、エアコン目的に来店した消費者が薄型TVも購入するなどの波及効果がきかれる。
自動車	諏訪地方の8月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,127台でエコカー補助金の適用期限を前にした駆け込み需要から、前年同月比+345台(+44.1%)の大幅な増加となった。
ホームセンター	扇風機をはじめとした清涼グッズの売れ行きは好調であった。

10. 観光

第62回諏訪湖上花火大会は、約4万発の打ち上げに約50万人(主催者発表)が詰めかけ、大会当日は諏訪湖周のホテル旅館は満館となるなど大きな賑わいを見せた。

各観光地への入り込み客数は、お盆以降も猛暑日が続いたことから高原の観光地を中心に比較的堅調な推移となった。一方、秋以降の集客に向けて取り組んでいた台湾や中国からのインバウンドに関しては、急激な円高により現地でのツアー募集に弱含み感がきかれる。

上諏訪温泉	連日花火を打ち上げる「サマーナイトファイヤーフェスティバル」が好評で、ホテル旅館の宿泊者数は前年を上回ったところが多い。
蓼科・白樺湖・車山	真夏日がお盆以降も続いたことから8月後半も入り込みが比較的堅調であり、ホテル旅館の宿泊者数は前年並みから10%程度増加したところが多い。
下諏訪温泉	宿泊客数は前年並みを維持しているものの、引き続き日帰り宴会の減少がきかれる。
諏訪大社	上社・下社合わせた8月の参拝者数は約87千人で、前年同月比約+29千人の大幅な増加となった。引き続き御柱効果がみられ、万治の石仏とあわせ下社春宮への参拝が増加している。